



いわて生協 復興支援活動ニュース

2018年8月号

2018年7月27日発行

いわて生協 組合員活動チーム
電話：019-603-8299
FAX：019-687-1117

7年が経過した沿岸被災地の様子新しい街のかたち
ができてきました。

今年9月には仮設の集約や閉鎖にともない内陸から
行っていたふれあいサロンも陸前高田行きを残すだけ
になります。

これまで継続してこられたボランティアのみなさんに
感謝とともに、仮設住宅が無くなるまでは支援を続けて
いけるようにご協力をお願いします。



(大槌町小槌第6仮設住宅「あめちゃん袋作り」)

ふれあいサロン～転居した引越し先から通う方も～

被災地支援担当 福士 久美子

7年が経過した被災地の仮設住宅は、入居者の減少が進み、寂しい場所になっています。仮設住宅からの撤去、そのこと自体は復興の証として喜ばしいことです。

私の担当する釜石・大槌のふれあいサロンの参加者は、今は半数以上が仮設住宅から転居した方で、サロンを楽しみにして、引っ越した先から通ってきている人たちです。

いわて生協が震災後から開催しているふれあいサロンは、6月19日に通算3500回を迎えました。その日の釜石市野田西仮設のサロンには、長野医療生協のお二人が参加してくれ、血圧測定、健康チェックなどをしてくれました。また、6月21日には、大槌町小槌14仮設のサロンに、東都生協新人研修として若い職員が参加され、住民さん四人の震災当時の話を真剣な面持ちで聞いていました。私は「災害遭遇時には、まずは、自分の身を守ることだよ」と、強く強く心の中で叫んでいました。

時間が経過し、サロン参加者が減り、他からの支援が激減している中、2団体がサロンに参加してくれたことは、住民さんにとっても「震災を、みなさんを忘れていないよ」というメッセージとして受け止められたように思います。

仮設住宅でのサロンも、残り何回かな？と数える頃になりました。被災地の生協として、協同組合としての生協活動として、地域の居場所づくりをどのように作っていくのか、地域からの期待は大きいように思います。

私が参加している釜石市社会福祉協議会を中心とした連絡会では、これまでの被災者支援対策の事業から、「一般福祉施策を用いた支援を想定する必要を訴え、特にも、認知症や近隣トラブルなどがテーマになる」としています。

地域も生協も、支援活動から地域に根ざした活動へ・・・と続いていきます。

ボランティア研修を予定しています

日時を8月～9月にかけて(現在調整中です)、内容は「みやぎ生協の居場所作り」のボランティア研修を予定しています。同じ被災県としてサロン活動をしてきたみやぎ生協ですが、復興が岩手より早く進んでいる事もあり被災地のサロンから地域の居場所作りへと活動を広げています。その先進的な取り組みについてお話をお聞かせします。詳しくは次号でお知らせいたします。

ふれあいサロン



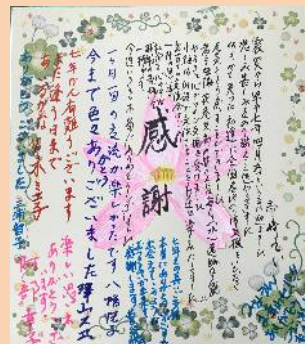
今月のサロンの様子

～ 最後の食事会を開催 ～

大槌町小槌第 16 仮設住宅

先月仮設集会所の閉鎖で最後のサロンになったので、今月は近くのお店でランチ会を計画し、お別れ会を開催しました。

2012 年 2 月から始まったサロン活動にサロンの参加のみなさんが感謝の気持ちを色紙に書いて、ボランティアさんに贈ってくださいました。



～陸前高田市 サンビレッジ仮設住宅～

今回の手芸は飾り洗濯バサミ。思ったより早く終わったのでスタッフも含めてコーヒーを飲みながらおしゃべりしました。手芸で手一杯の時と違い、時間に余裕がありじっくり話ことができました。久々に参加する方もいて「まだまだサロンの存在意義はあるのだ」と感じました。

～大槌町小槌第 20 仮設住宅～

フラワーペンの制作も終わり、時間に余裕があったのでおしゃべりしながら笑いながら十分にストレスを発散できたのではないかと思います。健康に関すること、趣味、これからの生活のこと、皆さんの心の内を出すことで気持ちが軽くなるのではないかと思います。また来月も元気なみなさんの声を聴きたいと思います。

今月で終了のサロン

宮古市：実田仮設 大船渡市：赤崎大立仮設 大槌町：大槌第 10 仮設、小槌第 16 仮設
陸前高田市：中田雇用促進住宅

食の支援

<生協料理サロン>

料理サロン

6 月 25 日 宮古市実田仮設住宅 7 人 スタッフ 5 人



<ふれあいサロン>

ふれあいサロンでの食の支援は、4 会場で開催し、ボランティアが 10 人と住民さん 30 人の参加でした。



みんなで一緒にタレ作り！

バスボランティア



次回のバスボランティア日程について

日程：9月2日(日) 行先：大槌 作業内容：草取り、草刈り

集合場所：旧天昌寺組合員センター(旧介護・福祉センター“あい”)

6:30 出発、17:00 帰着予定

開門は6:00過ぎです。施錠していますので、6:00過ぎにお越しください。

キット作り

●○○● キット作りありがとう ●○○●

- ・ 飾り洗濯バサミ (宮古ドラキット作り)
- ・ 和風巾着袋 (遠野くるりんキットクラブ)
- ・ ティッシュケースカバー (北上さくらこ〜ぷ委員会)
- ・ トイレットペーパーホルダーカバー
(一関ふれあいサロン応援隊)
- ・ パックン小物入れ
(ちょボラくらぶ花巻、水沢ぺこぼらくらぶ、
大槌マストちょボラ)
- ・ グラニーバッグ (盛岡北松園東こ〜ぷ委員会)
- ・ エコバッグ (けせん生出手芸の会)



一関ふれあいサロン応援のみなさん〜キット作り〜

支援を ありがとう



お菓子・飲み物のご支援

- ・ 「コープいしかわ」さん
- ・ 「ユーコープしずおか」さん
- ・ 「コープかがわ」さん
- ・ 「コープみらい」さん
- ・ 「こうち生協」さん
- ・ 「福井県民生協」さん
- ・ 「京都生協」さん

現地でのご支援

- ・ 6/22 (金) 大槌
「医療生協さいたま」さん

2013 年 8 月から大槌に毎月 5 人の組合員や職員が参加して血圧測定や健康チェックをしてくださいました。長い間ありがとうございます。



毛糸のモチーフ作りプロジェクト

被災された方に年末の昼食会などで「ひざ掛け」を届けたいと始まった「毛糸のモチーフ作り」。事務局に組合員さんが作ってくださった毛糸のモチーフがたくさん集まってきています(※1)

早速、毛糸のモチーフをつなげるボランティアさんが集まり、ひざ掛け用につなげる作業を開始しました。これから何回か集まり「ひざ掛け」を完成させます。毛糸のモチーフは9月末まで募集しています。

※1 毛糸のモチーフ→15cm四方のカギ針で編んだモチーフ



熱中症に注意しましょう

今年の夏は、岩手でも 30 度を超える日が増えています。室内にいても熱中症にかかるリスクがあります。十分に注意してサロン活動を行ってください。室内を涼しくし、スポーツドリンクなどで水分を取り、周りの人の様子を気にかけてみましょう！